

試合番号 : 186		試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館				観客数 : 0			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 山本 和良		副審 : 新田 浩幸	
サントリーサンパーズ		通算 12勝 2敗 ポイント : 34		25 第1セット 22		VC長野トライデンツ		通算 1勝 15敗 ポイント : 6	
監督コメント 本日も画面越しに熱いご声援ありがとうございました。VC長野が、昨日の試合から修正した点に驚かされるシーンがありました。今日もサンパーズのサーブが荒いので、課題として取り組んでいきたいスキルです。2日間で様々な選手を試合に出場させることができよかったですと思います。大会開催にあたりご協力をくださった方々に感謝します。引き続きサンパーズへのご声援よろしくお願い致します。	3	25 第2セット 22		0	昨日のゲームではブロックが1本も出ることができなかった。今日はサーブからのディフェンスを意識して挑みました。良い形も作ることができましたが、サントリーの質の高さに勝つことができませんでした。来週はホームでの試合になりますのでいいパフォーマンスと勝つ姿を見たいと思います。本日も応援ありがとうございました。				
		25 第3セット 21							
		第4セット							
		第5セット							
要約レポート 第1セット、ミドルブロッカーとして初先発の小川がセンターからのスパイクとサーブサービスでリードを広げる。対するVC長野は森崎のサーブサービス、リヴァンのブロックで同点に追いつくが、終盤にサントリーが柳田とムセルスキーにボールを集め、このセットを先取した。第2セット、中盤まで互いに攻撃を決めてサイドアウトを取り合う展開となるが、終盤にサントリーが藤中のブロックポイントで抜け出すと、そのままセットを連取した。第3セット、このまま終われないVC長野はリードされると直ぐに池田(幸)に代えて笠利を投入し応戦する。中盤以降、中村が連続ブロックを決めるも点差を縮めることが出来ず、このセットもサントリーが奪い、新年明けてのホームゲームを2連勝とした。									

試合番号 : 187		試合会場 : 愛媛県武道館				観客数 : 610			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:20		試合時間 : 02:20		主審 : 江下 毅		副審 : 本間 明	
JTサンダース広島		通算 8勝 8敗 ポイント : 27		24 第1セット 26		東レアローズ		通算 8勝 6敗 ポイント : 22	
監督コメント スタートからお互い白熱した接戦比への試合でしたが、サーブレシーブなどの細かい部分でサイドアウトが取れず、相手より先にリズムに乗れなかった事が勝敗を分けたと思います。もっとサーブの質など全体のパフォーマンスを高めて、次の試合へ臨みたいと思います。松山へお集まりいただいたファンの皆様、ありがとうございました。コロナの状況が少しでも収束する事を祈念しております。	2	25 第2セット 22		3	2日間たくさんの応援ありがとうございました。今日はアローズらしい気迫のこもった試合ができました。選手の頑張りに感謝したいと思います。次のホームゲームでもアローズらしいプレーを表現したいと思います。応援よろしくお願い致します。				
		22 第3セット 25							
		26 第4セット 24							
		11 第5セット 15							
要約レポート 昨日の試合とは違って、第1セットから第3セットまで両チームとも点を奪い合う展開となり、JTサンダース広島のエドガーと東レアローズのバダル、両エースが打ち合う展開となったが、東しが勝負どころでのポイントをものにして、セットカウント2-1でリードした。第4セット、後がなくなったJT広島は序盤流れを作りリードするも、東しが粘りを見せ中盤で追い越される。しかし、終盤JT広島がエドガーの攻撃でデュースまで持ち込みセットを奪い、フルセットに持ち込んだ。第5セット、序盤から東しが小澤、バダルの攻撃でリードを広げると、そのままの勢いを止めることなくセットを取り大接戦の末、勝利した。									

試合番号 : 188		試合会場 : 北九州市立総合体育館				観客数 : 373			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:13		試合時間 : 02:13		主審 : 林 淳一		副審 : 宮原 里実	
堺ブレイザーズ		通算 8勝 8敗 ポイント : 24		22 第1セット 25		ウルフドッグス名古屋		通算 12勝 4敗 ポイント : 35	
監督コメント 今日は昨日の勢いそのままに連勝したかったが、良いゲームは出来たものの、良い結果を迎えることは出来なかった。相手のWD名古屋は、ブロックとサーブが特に優れていたように思う。こちらも全体的にとっても良いプレーは出来ていたが、あと一歩及ばなかった。会場に足を運んでくれた方々、またリモートで応援してくれた方々、全てのサポーターに感謝します。	1	27 第2セット 25		3	このような状況の中で、試合ができたことに感謝します。昨日の試合での課題であったサーブに関して、いくつか改善できた場面がありました。さらにコミュニケーションをより良くすることで成長できることがあると思います。今週の試合で明確になったチームの課題を克服し、我々ウルフドッグス名古屋が日々成長できるように頑張ります。来週は我々にとって「家」である豊田合成記念体育館「エントリオ」で久々のホームゲームが予定されています。ぜひともご注目ください。本日もサポートありがとうございました。				
		22 第3セット 25							
		29 第4セット 31							
		第5セット							
要約レポート 昨日の勢いそのままホームゲームで連勝を伸ばしたい6位堺ブレイザーズと、昨日の敗戦から流れを切り替えたい2位ウルフドッグス名古屋の一戦。高野の強烈なバックアタックで幕を開けた第1セットは、ジョンの連続得点で堺がリードする展開となった。しかし中盤、クレクの強烈なサーブサービスとバックアタックで徐々にリードを縮めたWD名古屋が、山田・高梨のアタックで逆転に成功し、高梨の連続得点で逃げ切ってセットを先取した。続く第2セット、鶴野のサーブサービスからジョンらの連続バックアタックなどで堺が一気にリードする展開となった。WD名古屋も終盤、リリーフサーバー永露が堺のサーブレシーブを乱して追いつき、デュースまでつれ込んだが、最後は高野・ジョンが続けてアタックを決めた堺が逃げ切ってゲームを振り出しに戻した。第3セット、堺は高野・ジョンのアタック、一方のWD名古屋は近の連続ブロックなどで得点を重ね、終盤まで互いに譲らぬ攻防が続く。しかし、要所でクレクにボールを集めて確実に得点を重ねたWD名古屋が逃げ切った。このセットを奪い返した。第4セット、後の無くなった堺は、好調なジョンを中心としたサイド陣、松本・出来田の連攻を織り交ぜて攻撃を繰り広げる。対するWD名古屋も高梨・山田のサイド攻撃と山近・クレクの速い攻撃で応戦し、30点を超えるデュースとなったが、最後はWD名古屋が粘り勝って白熱したゲームに勝利した。両チームともファイナルの連続で接戦となり、非常に見応えのある試合であった。									

試合番号 : 189		試合会場 : ベっぶアリーナ (別府市総合体育館)				観客数 : 545			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:59		試合時間 : 01:59		主審 : 木内 誠二		副審 : 山本 晋五	
大分三好ヴァイセアドラー		通算 0勝 16敗 ポイント : 3		25 第1セット 21		FC東京		通算 6勝 10敗 ポイント : 19	
監督コメント 第1セットを取り、試合の流れをつかみかけたが、FC東京の粘り強いレシーブでセット終盤に受け身の展開となってしまい悔しい敗戦となった。ホームゲーム2日間に渡っての応援、大変ありがとうございました。	1	22 第2セット 25		3	今日も昨日に引き続き、各セット非常に厳しい展開が続いたが、勝利を得ることができたのは選手が我慢強く戦ってくれたおかげです。また橋選手のVリーグ栄誉賞受賞を勝利で飾れたことは、チーム一同非常にうれしく思います。来週も厳しい戦いになりますが、しっかり準備をしてのぞみます。本日も応援ありがとうございました。				
		23 第3セット 25							
		18 第4セット 25							
		第5セット							
要約レポート 今シーズン初勝利を目指す大分三好ヴァイセアドラーと、連勝して勢いをつけたいFC東京の対戦。第1セット、大分三好はバグナス、ストックトンを中心に攻撃を組み立て、FC東京はセッター手原の巧みなトスワークで大分三好に的を絞らせない攻めと固い守備で両チームともに譲らず、一進一退の攻防が続く試合展開となった。終盤、大分三好はストックトンのサーブサービスとバグナスのスパイクでリードを広げ、最後はバグナスのサーブサービスでこのセットを取った。第2セット、FC東京は長友を中心とした攻撃と栗山・小田嶋の連攻やブロックで優位に試合を展開し、最後も小田嶋のブロックでこのセットを取った。第3セット、大分三好は途中出場した山田のサーブサービスと川口、バグナスのブロックによりリードを広げたが、終盤にFC東京長友のサーブサービスから逆転を許してこのセットを落とした。第4セット、大分三好はミスが目立ち、流れを引き寄せることができなかった。FC東京は長友の巧みな攻撃と栗山、佐藤の活躍により終始リードしてこのセットを取り、大分三好に勝利した。大分三好はホームゲームで粘り強い試合展開を見せたが、悔しい敗戦となった。									

試合番号 : 190		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,183						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:06		試合時間 : 02:06		主審 : 原 啓之		副審 : 村中 伸				
パナソニックパンサーズ		通算	13 勝	3 敗	25	第1セット	23	ジェイテクトSTINGS	通算	10 勝	6 敗	
			ポイント : 37							ポイント : 27		
監督コメント	逆転勝ち出来たことは大きく、ファイティングスピリットがずっとあった。ジェイテクトSTINGSは、非常に強いチームで戦術面で苦労しましたが全選手工夫して点数を取っていたと思います。途中出場した選手も活躍したからこそ勝てたと思います。				3	18		2	昨日に引き続き悔しい敗戦となりました。選手達は今日もいいプレーを多く出してくれたと思います。大事な局面で点数が取れなかった要因をしっかりと分析して今後に繋げていけるようにして参ります。大阪大会の2日間、たくさんの応援ありがとうございました。また、この状況下でも大会開催に際しご尽力いただき感謝いたします。			
	今日、アリーナまで来てくださったみなさん、本当にありがとうございます。これからも応援よろしくをお願いします。					23			昨日首位に躍り出たパナソニックパンサーズと、同一カードを勝ち越すためには、もう一敗も出来ないジェイテクトSTINGSとの一戦。			
	ジェイテクトSTINGSは、非常に強いチームで戦術面で苦労しましたが全選手工夫して点数を取っていたと思います。途中出場した選手も活躍したからこそ勝てたと思います。					25			第1セット昨日同様に一進一退の攻防戦で幕明けとなるも、パナソニックは要所で大竹の攻撃が決まり、セットを先取る。			
	今日、アリーナまで来てくださったみなさん、本当にありがとうございます。これからも応援よろしくをお願いします。					25			第2セット、第3セットとフェリベと西田の攻撃の歯車が噛み合ったジェイテクトが連取するも、対するパナソニックは清水、渡辺の攻撃が決まるとリズムを取り戻し、第4セットを奪い返す。			
	今日、アリーナまで来てくださったみなさん、本当にありがとうございます。これからも応援よろしくをお願いします。					15			第5セット目は、勢いにのるパナソニックが逃げ切り、フルセットの接戦を制した。			
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗		
			ポイント :						ポイント :			
監督コメント												
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗		
			ポイント :						ポイント :			
監督コメント												
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗		
			ポイント :						ポイント :			
監督コメント												
要約レポート												